

二八二八番

紅くれなるの 深染ふかそめの衣きぬを 下したに着きば 人ひとの見みらくに
にほひ出いでむかも

二八二九番

衣ころもしも 多おほくあらなむ 取とり替かへて 着きればや君きみ
が 面おもわす忘れたる

二八三〇番

梓弓あづさゆみ 弓束ゆうか巻まき替かへ 中なか見みさし 更さらに引ひくとも
君きみがまにまに